

2-2-10 第 10 分科会「知恵の輪(チェーンズリングを生かした授業作り)」

担当者 杜 威 受講学生 10 名

活動概要： 知恵の輪の一つチェーンズリングについてのしくみ、歴史を理解し、小学校、中学校、高校の算数、数学の授業で教材として役立てることができるのか研究しました。

活動風景：





受講学生の感想（受講生の受講カードより抽出）

- チェイニーズリングの遊び方、自分のやった知恵の輪とは違うもので、非常に奥が深く楽しかった。目標を持って1つ1つ付けたり外すのは重要！！（11月4日の感想より）
- リングの数が1個増える毎に約2倍ずつ最低限の手数が増えるので、リングが36個になると手数が億単位になるのに驚いた（11月25日の感想より）
- 不器用ながらもなんとか7個のチェイニーズリングができた。自分でモノを作ったというのは久しぶりで、とても愛着が沸きました。（12月9日の感想より）
- チェイニーズリングを高校の教材として使うときに数列を使って問題を出すようにしたが、そこまでどのように持って行くのかがまず課題だと思いました。（12月16日の感想より）
- チェイニーズリングの全体発表に向けての準備を行い、自分は知恵の輪の操作担当となったので、当日失敗しないように練習をします。（1月20日の感想より）